

登録コード	A3592427	開講年度	2026					
授業科目	プレゼンテーション演習Ⅱ					担当教員	河原 岳志	
英文授業名	PresentationⅡ							
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年前期	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】		
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ							
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	専門的な知識や研究能力を修得している。		
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している。		
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ							
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。		
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	本授業では、自身の行った専攻研究について、その着眼点や新規性、成果がもたらす社会的な価値などを分野を異なる視聴者にもわかりやすく伝えられる技術の取得を目指す。							
(5)授業計画	第1回 プレゼン資料の作り方 第2回～第15回 プレゼンテーションの練習とそれに対する質疑応答対策							
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を薦める。							
(7)成績評価の基準	成績評価の基準は以下のとおりです。 評価 略号 点数 秀 S 90-100 視聴者に対するプレゼン能力が卓越している 優 A 80-89 視聴者に対するプレゼン能力が優れている 良 B 70-79 視聴者に対するプレゼン能力がやや優れる 可 C 60-69 視聴者に対するプレゼン能力がある 不可 D 59以下 視聴者に対するプレゼン能力が不足している							
(8)事前事後学習の内容	自身の研究に関連する英語論文のプレゼンテーションは、卒業発表のための技量を身に着ける場ですので、必ず内容について予習するようにしてください。 またうまく説明できなかった場所や答えられなかった質問内容について事後学習をしっかりと、次の担当回にはよりよい発表ができるよう努力してください。							
(9)テストやレポートの予定	なし。							
(10)成績評価の方法	専攻研究発表会でのプレゼンテーションに向けた取り組み状況と、発表会当日に実施される講演者相互の評価による点数評価結果を参考に行う。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時受け付ける。							
(12)履修上の注意	プレゼンテーションは相手に伝わってこそ価値を生み出します。自身が取り組んだ成果をわかってもらうため、客観的な視点を意識して臨んでください。 なお、本講義は先行研究発表会が大きなウェイトを占める講義ですので、発表会に参加しない受講者には単位を認定しません。 また、成績評価の関係でプレゼンテーションの投票に不正を行ったことが発覚した場合は、内容を問わず最低点とさせていただきます。							
【教科書】	特に指定しない。							
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術- （酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術 （宮野公樹著、化学同人）							